

平成29年 第1回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

| 順 番 | 議員番号 | 議 員 名 | 質問方式 |
|-----|------|---------|------------|
| 1 | 21番 | 橋 本 和 治 | 一問一答（登壇なし） |
| 2 | 9番 | 海老原 作 一 | 一問一答（登壇あり） |
| 3 | 16番 | 山 本 清 | 一問一答（登壇あり） |
| 4 | 4番 | 玉 木 実 | 一問一答（登壇あり） |
| 5 | 1番 | 伊 藤 真 一 | 一問一答（登壇あり） |
| 6 | 3番 | 小 川 利 彦 | 一問一答（登壇あり） |
| 7 | 14番 | 増 田 葉 子 | 一問一答（登壇あり） |

質 問 1

質問者 21番 橋本和治

- 1 市長と国政政党との関係について
- 2 防火・防災体制について
 - (1) 本市における密集市街地の防火対策
 - ①密集市街地の防火体制の現状
 - ②類焼防止のための具体的な施策
 - ③感震ブレーカーの普及推進
 - (2) 防災井戸について
 - ①市の防災井戸は飲料可能か
 - ②地震による水脈変化に対する想定は
 - ③民間の井戸をどう活用するか
- 3 国・県との人事交流
 - (1) 国・県との人事交流の現状は
 - (2) 国・県との人事交流のメリット・デメリットを伺う
 - (3) 国・県との人事交流に対する今後の方針は
- 4 市民向け予算説明書を作成する考えはないか
- 5 運転免許を自主返納する高齢者に対する施策について

質 問 2

質問者 9番 海老原 作 一

- 1 印西市のごみ減量について
印西市では、ごみの発生量を抑制し、あわせて資源の再利用を進め、持続可能な資源循環型社会を目指すため、平成14年度から取り組んできた印西市ごみ減量計画に続く第2次印西市ごみ減量計画を平成24年3月に策定し、平成

32年度を最終目標年度とし、ごみ減量に取り組んでいる。また、当該計画では計画期間を2期に分け、第1期は平成24年度から平成27年度、第2期は平成28年度から平成32年度とし、それぞれ、ごみ減量・資源化の中間目標値と最終目標値を設定し、各年度においても計画の進捗や事業の達成度を常に評価していくとしている。そこで、計画期間の第1期が終了したことから、計画の検証という視点で以下の質問をいたします。

(1) 家庭系ごみの減量・資源化について

- ①可燃ごみの減量は中間目標値を達成できたか。
- ②不燃ごみの減量は中間目標値を達成できたか。
- ③粗大ごみの減量は中間目標値を達成できたか。
- ④資源物回収は中間目標値を達成できたか。

(2) 事業系ごみは中間目標値を達成できたか。

(3) 有価物集団回収団体による有価物回収に対する評価について。

(4) 目標達成に向けた3つの施策の取り組み状況について。

(5) 今後の取り組みについて。

2 高齢者の運転免許証の自主返納について

近年、高齢ドライバーによる交通死傷事故が社会問題としてクローズアップされている。また、2025年には65歳以上の高齢者が3,600万人でその内700万人が認知症になると予測するところもある。そして、交通事故による死者数は毎年減少傾向を示しているなかで、高齢者の死者数比率は増加している。そのような背景を踏まえ、75歳以上の高齢者が交通違反をした場合、認知症の検査を義務づける等を盛り込んだ改正道路交通法が平成29年3月12日から施行される。このような状況を踏まえ以下の質問をいたします。

(1) 印西市における高齢者の交通事故件数について把握しているか。

(2) 高齢者の運転免許証自主返納についてどのような認識をしているか。

(3) 運転免許証自主返納者に対する協賛企業・団体の特典について。

(4) 運転免許証自主返納者に対して、ふれあいバスの利用特典を考えてはどうか。

質 問 3

質問者 16番 山 本 清

1 北総鉄道・京成線の高額運賃問題

- (1) 前回の議会以降、どのような交渉・努力をしてきたか。
- (2) 運賃の大幅値下げに向けて、北総鉄道は積極的か。
- (3) 株主代表訴訟など、新しい手法について、どう考えるか。

2 印旛明誠高校の土地問題

- (1) 市有地であるはずの印旛明誠高校のグラウンド・校舎の一部の登記が、元の地主に残っている問題について、現在、どのような状況にあるか。
- (2) この問題について、県から受け取ってしまった金額はいくらか。現在、その金員はどうなっているか。
- (3) この土地の法的な帰属について、印西市はどう考えているか。
- (4) 県から買い取った土地に、瑕疵があったことになるが、県の責任について市はどう考えるか。

3 横断歩道の補修

- (1) 2016年度に、いくつの横断歩道の補修が実現したか。
- (2) 横断歩道や車線が消えていることによって、市民の命が危険にさらされていることについて、どのように考えるか。

4 英語教育

- (1) 開催されることになっていた小学生の英語スピーチ大会は、なぜ中止されたのか。
- (2) 中学生のスピーチ大会、中学生の海外派遣は、今年限りなのか。
- (3) 「2020年度」が近づいてきている。小学校の教員のうち、何人が準1級を持っているか。2級はどうか。
- (4) 印西市内の小学校の児童・生徒は、印西市立の準会場で英検を受験することが可能か。
- (5) 小学校の英語コーディネーターの初年度が終わりつつあるが、成果はどうか。

5 いわゆる「政務活動費問題」について

- (1) 裁判では、何が最大の争点だった、と市は考えるか。
- (2) 市の見解が否定されたのは、なぜか。

質 問 4

質問者 4番 玉 木 実

1 水道事業と下水道事業について

- (1) 下水道事業の地方公営企業法の適用について、印西市の取組みスケジュールや適用範囲はいかがですか。
- (2) 既に公営企業会計を適用している水道事業と統合する考えはありますか。

2 骨髄バンクの現状と課題について

- (1) 骨髄ドナー登録の推進について
- (2) 近隣市町村の動向と課題について

3 平成29年度予算について

- (1) 市長の重点施策と予算の関係はいかがですか。

質 問 5

質問者 1番 伊 藤 真 一

1 印西市の農業の現状について

現在、全国で離農者が増えている状況で、市内の農家からも今後を心配する声が数多く寄せられていますので質問します。

- (1) 農業従事者人口の推移について、どの様な認識を持っているのか伺います。
- (2) 水田、畑の耕作放棄地の推移について、どの様な認識を持っているのか伺います。
- (3) 後継者問題についての市の取り組みについて伺います。

2 J R成田線の安全運行対策について

以前よりJ R成田線は天候不順等により、運行止め（遅延も含む）となり市民の足に影響を及ぼしていますので質問します。

- (1) 数年の遅延状況を市は把握しているのでしょうか。
- (2) 遅延となる原因について把握しているのでしょうか。

(3) 今まで遅延に対して、どの様に対応をして来たのでしょうか。

(4) 今後の対策についての考えはあるのでしょうか。

3 生活道路について

市民より早急な改善要望が寄せられているので確認します。

(1) 小林の「横須賀踏切」を横断する急斜路の改善状況について伺います。

質 問 6

質問者 3番 小川利彦

1 印西市の安心安全な街づくりについて

AEDの設置やインフラ整備等の質問を何度もしておりますが、未だに未実施な状況も見受けられ、地域格差が広がっている感じを受けます。

安心安全な街づくりの観点から伺います。

(1) 自動体外式除細動器(AED)について

①市内の設置状況について

②市内店舗等の事業所との協定によるAED設置検討について

③普通救命講習受講者の状況について

④千葉県のアED条例制定について印西市としての見解について

(2) 防犯灯等の道路照明について

①市内の現在の状況を見て、印西市としての見解について

②地区要望の状況について

③次年度以降の設置計画について

(3) 市道の状況について

①通学路となっている市道の拡幅や歩道整備の状況について

②樹木・雑草繁茂による危険な場所の対応について

③コンクリート道路の維持管理について

(4) 高齢者への対応について

①運転免許証返納者に対する印西市としての対応について

②交通弱者に対する対応について

③印西市として今後の対応について

2 市内の小中学校の統廃合について

(1) 保護者・地域住民説明会の状況について

- (2) 小中学校の統廃合についての国や県からの指導について
- (3) 印西市は、統廃合を計画通りに進めていくのか

質 問 7

質問者 14番 増田 葉子

1 ごみの減量化、資源化について

板倉市長の公約であったごみの半減化、減量化は、今年度はどこまで達成でき、どのような成果があったのでしょうか。焼却するごみを減らせれば大きな施設はいらない、財政負担も少なくて済む、そのようなアプローチからの政策であったと思いますが、資源として活用できるものはできるだけ分別して活かし、焼却ごみを減らしていくという方向性は、これからも堅持していくべきものと考えます。しかし、分別、リサイクルの前提となる、リデュース、リユースは現在どのような状況でしょうか。今後のごみ減量化の方向性をうかがいたく以下の質問をいたします。

- (1) ごみの減量化に向けた課題は何か。
- (2) 分別される資源物の種類は、どのような検討を経て今の形になったか。これまでの変更の経緯を伺う。
- (3) 収集、分別、処理のコストを総合的にどのように評価しているか。

2 印西市における「働き方改革」について

働き方改革担当大臣がおかれるなど、「いかに働くか」は、国をあげての大きな政策課題となっています。「働き方」について、印西市ではこれまでどんな取り組みをしてきたのでしょうか。労働・雇用政策は、国や県の仕事という声も聞こえてきそうですが、ひとり親家庭、高齢者、障がい者、生活困窮者自立支援、生活保護の各施策では、「就労支援」に取り組んできた実績があるはずですが。就労支援の現状はどうなっているのか、市で取り組むべき「働き方改革」について確認したく以下の質問をいたします。

- (1) これまでどのような就労支援が行われ、どのような成果があったか。
- (2) 「雇用創出」のこれまでの成果はどうか。
- (3) 印旛高校跡地に整備予定の（仮称）障害者サポートセンターでの就労支援の内容はどのようなものか。
- (4) 障害者差別解消法の「合理的配慮」について、就労支援ではこれまでどのような取り組みを行ってきたか。「事業者」としての取り組みも含め伺う。